

第124回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成23年4月22日(金) 13:30～17:00

場所：JR 東海 品川ビル A 棟

出席者：委員長 脇若（信州大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 岩松（鉄道総研），大崎（東京大），岡本（東海大），
森下（工学院大），矢野（産総研）

幹事 村井（JR東海），水野（信州大）

幹事補佐 鳥居（東京都市大），矢島（SMC）（記）

提出資料

- 124-1 第122回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（鳥居幹事補佐）
- 124-2 第123回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 124-3 リニアドライブ技術委員会名簿
- 124-4 第102回（H22年度第5回）産業応用部門研究調査運営委員会メモ（脇若委員長）
- 124-5 平成22年度リニアドライブ技術委員会活動報告（脇若委員長）
- 124-6 平成23年度（H23年4月～H24年3月）活動計画（3次案）（脇若委員長）
- 124-7 産業応用部門の技術が支える未来の社会（脇若委員長）
- 124-8 【電気学会125年史】目次と内容について（脇若委員長）
- 124-8' 125年史目次案検討用シート（脇若委員長）
- 124-9 交通・電気鉄道リニアドライブ合同研究会（案）（脇若委員長）
- 124-10 2010年12月リニアドライブ研究会開催報告（脇若委員長）
- 124-11 平成23年産業応用部門全国大会シンポジウム目次（案）（森下委員）
- 124-12 委員会構成委員変更届（渡邊委員）
- 124-13 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会(ECD)活動報告（岡本委員）
- 124-14 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会（MLV）活動報告（森下委員）
- 124-15 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 124-16 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会（MEL）活動報告（渡邊委員）
- 124-17 第8回 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会 議事録（岡本委員）
- 124-18 第11回 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 議事録（矢野委員）
- 124-19 第12回 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 議事録（矢野委員）
- 124-20 第5回 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会議事録（渡邊委員）

議事

1. 議事録確認

- 1.1 資料124-1を基に，鳥居幹事補佐から第122回委員会の議事録が確認され，承認された。
- 1.2 資料124-2を基に，矢島幹事補佐から第123回委員会の議事録が確認され，誤字（3箇所）を修正の上，承認された。

2. 報告事項

- 2.1 資料124-3を基に，委員会名簿の確認が行われた。
- 2.2 資料124-4を基に，脇若委員長からD部門研究調査運営委の報告が行われた。J-Xploreを検討していること，研究会の写真撮影が禁止であること，来年度は4委員会体制（研究調査運営委員会，論文委員会，編修広報委員会，国際化委員会）で進めること，などが確認された。
- 2.3 資料124-5を基に，脇若委員長から，本年度のLD技術委員会の活動報告が行われた。研究会発表件数は114件で，目標件数（115件）をほぼ満足できた。
- 2.4 資料124-7を基に，脇若委員長から，D部門研究調査運営委で作成したロードマップのイラストが紹介された。本イラストはwebなどで使用される。
- 2.5 資料124-9を基に，北野副委員長から7月21日に開催されるLD研究会が案内された。研究会は1日でおこない，翌日青函トンネルの見学会を行う。

- 2.6 資料 123-10 を基に、矢野委員から、H22 年 12 月に開催された LD 研究会について、報告があった。
- 2.7 資料 123-11 を基に、森下委員から、H23 年 D 部門全国大会シンポジウムの目次案について、説明があった。目次は電気学会に提出済み。
- 2.8 資料 123-12 を基に、水野幹事から、MEL 委の委員変更について、報告があった。

3. 審議事項

- 3.1 上記 2.3 本年度の活動報告において、D 部門全体として発表件数は目標を満足できたが、技術報告書の発行数、発行部数が計画の半分しか達成できていないと報告された。調査専門委員会の成果報告が技術報告書からシンポジウムになったのが一因ではないかという意見が出た。
また、研究会資料の定期購読数も減っていることが報告され、リーマンショック以前に購読していた企業に、購読を依頼しないと元に戻らないなどの意見が出た。
- 3.2 資料 124-6 を基に、脇若委員長から H23 年度の活動計画が説明された。3 月に震災で発表できなかったシンポジウム（「リニアドライブ技術のこれまでとこれから」「電気工学と人工臓器—命をつなぐ電磁応用技術」）について、フォーラムを開催して再度発表してはどうかと意見がだされた。また、研究会、フォーラム、見学会などに人が集まりやすいように、いっしょに開催する案がだされた。以下が決定した。
- ・ 7/15 までに、11 月か 12 月に「リニアドライブ技術のこれまでとこれから」「電気工学と人工臓器—命をつなぐ電磁応用技術」のフォーラムを開催するよう検討し、運営委員会に提出する。開催日程は ECD 委担当の LD 研究会に日程をあわせ、脇若委員長と岡本委員で調整して進める。
 - ・ 7/15 までに、H23 年 2 月か 3 月に開催する MLV のフォーラム案を作成し、運営委員会に提出する。
 - ・ 鹿山委員と安川電機殿の工場見学（8 月）の開催準備を進める。
 - ・ H24 年 2 月の研究会を名古屋で開催できるか検討する。また、見学会、LD 技委も同日に開催する。担当は村井幹事・鳥居幹事補佐。
 - ・ 次回 7 月の LD 技委に、MLV の解散報告書（案）、設置趣意書（案）を提出する
- 3.3 資料 124-8、8' を基に、脇若委員長から、電気学会 125 周年史の作成について説明があり、LD の目次について討議された。章題は「リニアドライブ」とし、ページ数が数ページであり、リニアドライブ技術はちょうどこの 25 年に集約されることから、最近の 25 年の歴史を中心に書けばよいことになった。討議において、125 周年史は誰が読むのか？という意見があった（読み手がわからなければ書けない）。
- 3.4 資料 124-13 を基に、岡本委員から、ノルマが大きく活動が難しいこと、現在の ECD 委は電気系の委員が少なく交流の意味が少ない、電気学会から人工臓器・医工学分野の研究活動に寄与がない、などの意見が ECD 委から出ていることが報告され、討議された。
LD 技委だけでなく他とも連携するなどして新しいテーマを見つける、電気学会側からニーズを探しに行かないといけない、D 部門としての考えを示さないといけない、それ専門にやる学会があり電気学会としてどうするかビジョンが必要である、などの意見が出た。
当面は設置趣意書を提出し、継続の申請をするが、運営委員会でも検討してもらうことになった。
- 3.5 2015 年開催の LDIA を日本で開催することが討議され、賛成多数で承認された。積極的に開催したい国があればそちらを優先し、なければ日本での開催を提案する（7 月までに準備を進める）。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 124-13～123-20 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

以上